


2026 年 3 月 天理参考館イベント

<p>3/9 (月) まで</p>	<p>第100回企画展 教祖 140 年祭記念</p> <h2>幕末明治の暮らし</h2> <p>企画展示室・3階ロビー・2階展示室</p>	
<p>3/2 (月)</p>	<p>マンデートーク⑱ 江 介也 学芸員</p> <p>トーク1 殷代の骨ト・亀トと甲骨文字(殷時代のコーナー)</p> <p>トーク2 殷代の青銅器祭祀(殷時代のコーナー)</p> <p>漢字の源「甲骨文字」が登場し、巨大な王墓に大量の青銅器が副葬されたのが「殷時代」です。占いに用いられた骨や亀の甲羅、独特な造形・紋様の青銅器と、それらに記された文字から、当時の王権や祖先祭祀の実態に迫ります。</p>	<p>①12:30～12:50 ②13:00～13:20</p> <p>3F 常設展示室</p>
<p>3/6 (金)</p>	<p>第100回企画展 教祖 140 年祭記念 幕末明治の暮らし 関連イベント</p> <p>学芸員による講演会 / トーク・サンコーカン</p> <h2>天理教団体輸送の歴史—おぢばがえりと天理臨—</h2> <p>講師：乾 誠二 学芸員</p> <p>天理教では、人間創造の地点である「ぢば」へ足を運んで参拝することを、「故郷へ帰る」という意味を込めて「おぢばがえり」といいます。これまで教祖年祭や大祭など、多数の参拝者が見込まれる大規模行事に向けて、天理教輸送担当者が鉄道事業者とともに計画を立て、受け入れ態勢の充実を図ってきました。本講では、乗車券や関連資料から天理教団体輸送について見てみます。</p>	<p>B1 研修室 13:30～15:00 定員 100 名 (当日先着順) 要入館券</p>
<p>3/8 (日)</p>	<p>ワークショップ【バリガムラン体験講座・クラシックギター講座】合同成果発表会</p> <h2>ガムラン・クラシックギターコンサート ～音色で巡る世界の旅 11～</h2> <p>出演：「バリガムラン体験講座」「クラシックギター講座」受講者・講師</p>	<p>エントランスホール 13:00～ 【無料】</p>
<p>3/16 (月)</p>	<p>マンデートーク⑳ 松田 真一 特別顧問</p> <p>トーク1 縄文装身具と貝輪（縄文時代東日本大震災復興支援展示コーナー）</p> <p>トーク2 縄文装身具と貝輪</p> <p>縄文時代の代表的な装身具の一つである貝輪について、全国の縄文遺跡における出土状態や貝輪の分析によって明らかにされた貝種の選択、素材の獲得、製作方法、貝輪の流通、貝輪着装者などについて解説します。</p>	<p>①12:30～12:50 ②13:00～13:20</p> <p>3F 常設展示室</p>
<p>◆休館日 3/3(火)・10(火)・17(火)・24(火)・31(火)</p>		



X

天理大学附属天理参考館



Instagram